

神社



1 楯原神社

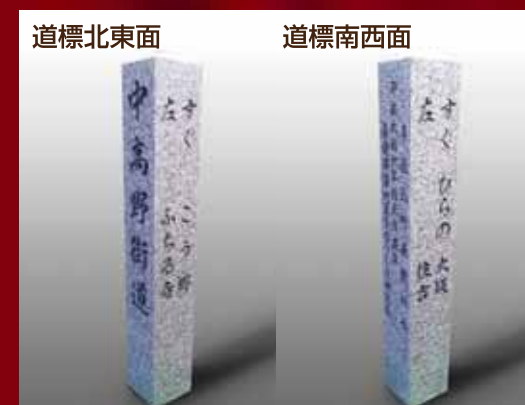
古代喜連北西の字楯原にあった式内社。明治40年村の全社を統廃合し村社となった氏神天神社を「許可を得て楯原神社と」改称。奥殿は喜連最古の1620年代築(大阪市指定文化財)。絵馬堂の釣鐘が神仏習合時代を伝える。



2 八坂神社

中世末字喜連地から遷座した東喜連村氏神牛頭天王社。近世中期字山王より媛天神・山王権現を合祀。神道令で八坂神社と改称し、明治40年現楯原神社に統廃合。昭和26年再建。

石碑

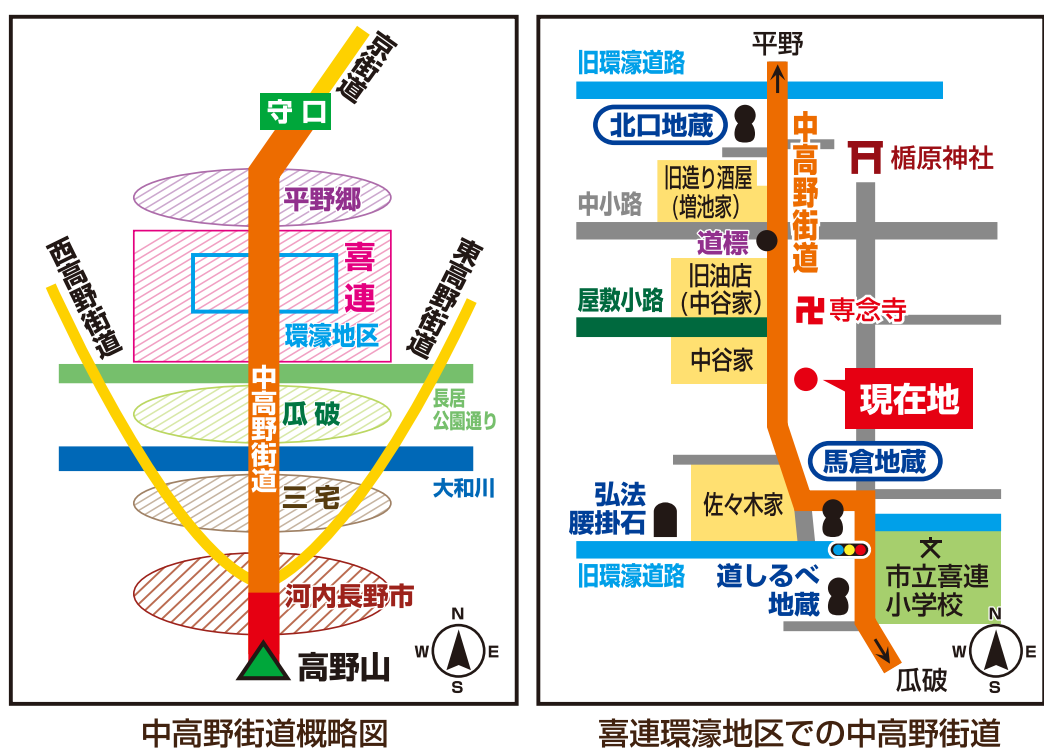


3 道標(中高野街道)

中高野街道と中小路との交差点にはこの街道の道標(平野、大阪、住吉、こう野、ふじい寺の方向を表示)が建っていたが、近年紛失したので、平成二十六年末、やや南側に地元有志により復元された。

4 中高野街道

北は平野郷を抜けて北上し、守口で京街道に接続、南は三宅(松原市)を抜けて河内長野市で東西の高野街道と合流する高野山参詣の道である。この道は旧喜連村の中と西との村境であった。



5 「伎人堤と河津境の由来」碑

続日本紀に741年「摂津河内の河堤を争う」、750年「破堤」とある伎人堤を1960年代まであった「かつつかい」とし有志が建碑。喜連は摂津、瓜破は河内なので「かつつかい」は河津境。併せ掘られた河を息長河に比定。伎人(渡来人)の進んだ土木技術で造成された。



6 灌漑長閘紀功碑

1704年の大和川付替が狭山池からの水路を断つため、西喜連村庄屋増池彌右衛門が新川からの取水に尽力。堤内69間と堤外50間の「五十間樋」を新設し、渾水時に東除川落堀から取水できるよう南岸にも向樋を設置。1887年暗渠化改修を機に顕彰碑を建立。藤沢南岳撰。

喜連散策マップ

喜連を愛し、魅力あるまちに
景観をまもり、趣あるまちに
訪れる人々とあたたかな交流を
温厚な「絆」を大切にするまちに

喜連環濠地区まちづくり研究会

喜連環濠地区案内板



A 喜連小学校 喜連小学校の歴史を掲載。



B 喜連幼稚園 マップと喜連幼稚園の歴史を掲載。



C 長橋家 喜連環濠地区の古民家、古民家の特徴を掲載。



D 大阪教育大学附属特別支援学校 マップとまちづくり標語を掲載。
E 辻江家 マップを掲載。



古民家

古民家(築100年以上の建物)は前庭の広い農家造りで、正形4間取り(田の字形)の母屋に、伴部屋のある長屋門と蔵を具え、2階部分が低い「厨子二階」様式である。喜連は庄屋級の豪農邸が多いのが特徴である。



a 長橋家 江戸時代中期築 昭和28年頃の大楠 現在の大楠



b 中谷(政)家 明治時代築



c 中谷(和)家 明治二十年(1887)築



d 中谷(素)家 嘉永五年(1852)築



e (旧)佐々木(高)家 安永七年(1776)築



f 服部家 文政五年(1823)築



g 浅井家 江戸時代後期築



h 杉本家 天保七年(1836)築



i 佐々木(豊)家 江戸時代天保期築



j 辻江(賢)家 明治時代築



k 後藤家 明治時代築



l 森本家 江戸時代天保期築



m 宮川家 江戸時代天保期築



n 増池家 江戸時代後期築



o 辻江(正)家 文化八年(1811)築



p 辻江(元)家 江戸時代後期築



q 奥野家 江戸時代後期築



r 木村家 明治二十二年(1889)以前築



s 小林家 大正元年(1912)築